

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)12月23日

所属名：湖北農産普及課

番号：G22023

部門分類：610（担い手育成）

発信者名：松浦

湖北地域青年農業者クラブによる県外視察研修を実施しました。

青年農業者の経営管理能力向上を図るため、12月13日、14日に島根県出雲市の勝部農産と鳥取県鳥取市のトゥリーアンドノーフで視察研修を実施しました。県外への視察研修は3年ぶりとなりクラブ員11名が出席されました。当課では月例会での話し合いを通して研修会の円滑な実施に向け支援しました。

勝部農産は経営面積70ha、作業受託30haの土地利用型の経営体です。勝部農産のある出雲市斐川町では農地中間管理機構ができる10年以上前から担い手への農地集積、集約が進んでおり農業経営がしやすい環境が整っています。カンントリーエレベーターには農協によるRTKアンテナが設置され、GPSを利用した大型農業機械で効率的な農業を営まれています。

トゥリーアンドノーフは飼料用水稻、小豆、飼料用トウモロコシを栽培されており経営面積は約70haです。社長の徳本氏はベンチャー企業の経営等に携わっておられましたが、地元、鳥取県の農業を変えたいという思いから就農されました。YouTube等で農業に対する考えなどを発信されておりチャンネル登録者数は約4万人です。世界的な大規模農家で構成されているGlobal farmersに加入され来年度からはフィリピンでの農業に参入されます。島根県内でも農地集積を進めており、1000haを目指しているとのことでした。

両法人とも先を見据えた特色ある農業経営を行われていることが伺えました。当日は、クラブ員と活発な意見交換ができ有意義な視察研修となりました。



視察研修の様子